

あらうま！

2008,6/9 西多摩ブロック

アジサイがきれいな季節になりました。



6月、雨ふりが多くなる季節ですね。じとじととうっとうしい日が続きます。子どもたちも外遊びができなくなり、校舎内で有り余った元気を発散しては、怒られる種を振りまくのではないのでしょうか。

でも、梅雨がコメ作りや私たちの大切な飲料水になること、やっぱり自然のサイクルには意味があるのかな～なんて、子どもと一緒に考えるのも大切な学びにつながるかもしれませんね。

アジサイは不思議な花ですね。七変化に花の色を変えるとか・・・?!
今の季節には、今だけの楽しみ方があるのかな。

水泳学習も始まります。雨ふり、プール、「水」についての勉強がいろいろとできそうですね。

5月例会の報告です・・・!!

17日(土)5月例会が行われました。テーマは「鉄棒の指導」。びっくりでした。たくさんの資料が集まりましたね。鉄棒には、苦手意識が強かったせい(私)、あまり実践は少ないのかと思っていたのですが、ありました、すごいのが!

小侯さんの「熱かった頃の・・・!」と言っていました。支部大会で提案したという分厚い資料。子どもとしっかりと向かい合った実践でした。こだわりのある学びにう～ん!とうなるばかりでした。地下さんの子どもの心をくすぐるような面白い鉄棒チャレンジカード。目標が見えてファイトが出そう。やっぱりいろいろな知恵や工夫があるんですね。

そして、今回 水本さんが、3年生の子どもたちと作り始めた「鉄棒に鈴なりになる子

どもたち！」の実践。いや～、面白かったですね。

鉄棒で何ができるのかな？と思っていたのですが、鉄棒の面白さのエキスを抽出し学ぶ順にしたものを実技で確かめてみました。

その1、固定遊具から・・・

ブランコの杵を使って！ 低くて太い鉄の棒が、面白い。お尻を乗せて「わいわい！」手放しでバランス感覚が養える。また、ここで逆上がり。足抜きなんかもできちゃう。低いだけに子どもたちにとっては、チャレンジしやすい場になりそうですね。こんな使い方もあったかと納得！

ジャングルジムを使って！ 立て横に組まれた鉄の棒。これがなかなかの学びの場になるのです。いろいろある中でセレクトされた3つの課題。

まず、「**スーパーマン！**」子どもたちは思い思いの高さに位置し、ごろりと腹這いになる（水平姿勢）。高いところが好きな子もいれば、ちょっと怖そうに低いところで。高さはその子の安心できる高さでいいのです。一度に何人もできるのがいいですね。できたら、今度は「**仰向けスーパーマン！**」こりゃちょっと怖い！恐る恐るやってみるところかな。

「**ジャングルこうもり**」足かけをしてぶら下がる。腰かけ姿勢から手で安定をとりながら 逆さになり、足掛けぶら下がりへ。足かけ感覚と逆さ感覚が養える。

「**足抜きまわり**」立て横の棒が階段のように使えるのがいいですね。足でたどりながら体を丸め足抜きにチャレンジできるのです。同じように鉄の棒に体を巻きつければ逆上がりですね。

登り棒を使って！ 2本の登り棒に手をかけ足かけ、「あめんぼ！」。逆さになれば、「さかさあめんぼ！」。両手をかけて足抜きだってできるのです。でも まずは、体育座りからの「すわりあしぬき」がいいそうです。

その2、鉄棒へ・・・

鉄棒のエキ스는すべて「**ぶたのまるやき**」にある！！

その理由は、まず「**ぶたのまるやき**」は、だれもができる技である。足が上がらなければ、鉄棒の柱に足をかけてよじ登れる。両手両足でぶら下がればOK！

そして、ぶら下がったまま体にギュッと力を入れて体を丸めたり（緊張）、フツ～と力を緩めたり（脱力）。緊張と脱力が学べるのです。そして 大事な、スウィングの技術。縦揺れ・横ゆれが「握り」と「手首の返し」で「体の重心の移し替え スウィング」ができるのです。

これができるば、「**地球まわり**」にチャレンジ。握り返しで逆さ状態のまま右や左へ

と体が回るのですね。

そして、低学年で目指すは足かけ「こうもりさん」。「ぶたのまるやき」から「こうもりさん」へと技の学習は広がるのです。

なるほど。鉄棒というと、まず「さかあがり」が浮かびますが、誰もが楽しくできるバラエティーに富んだ技のステップがあるのです。水本さんは、休み時間、チャイムと共に校庭の鉄棒に鈴なりになる子ども達の姿を目標に頑張っているそうです。楽しくなりますね。早速、池田さんも始めたいとのこと。次回の例会が楽しみです。

そのあと、井上さんの高学年の運動会マ스ゲームの実践！子どもたちの実行委員を軸にした取り組み。6月1日に見事に成し遂げました。高学年が動く！学校の力強さを感じさせてくれました。これも次回報告が楽しみです！！

参加者の声・・・！

・水本先生の固定遊具を使った実践、とても参考になりました。できない子への補助の仕方も勉強する必要があると感じました。高学年でも使えるということなので、できたらやってみたいと思います。

倒立ができるようにするために・・・。

「ロンドン橋」という楽しいゲームをして取り組む方法、早速やってみます。クラスの子も達が、楽しそうにやっている姿は目に浮かびます。ノンちゃんもやってくれると思うので、次回報告します。

Mさん

・水本さんが子どもたちと行う授業の中で、これだけは絶対に大切というジャングルジムと登り棒と鉄棒と、そしてブランコのサクの腰を使った腰掛けは実際にやってみるほどと納得のいくものでした。

小俣さんの過去の実践も素晴らしいと思いました。これだけの思いを込めて実践することの値打ちが改めて分かりました。

渡辺さんの鉄棒の計画も、なかなか楽しそうでした。忙しい中でよくプランをたてられたと感心しました。

地下さんの鉄棒のカードもとてもわかりやすく良かったです。

Yさん

・水本先生の鉄棒運動の実践では、できない子どもも楽しんで授業に参加し、しかもできるようになるエッセンスがたくさんあるように感じました。

井上先生の運動会表現の実践は、子どもたちの組織化の大切さがよく分かりました。実行委員会を作り子どもたちに決めさせつつも、教師が子どもたちの現在の実力を見極め、子どものモチベーションを保ちつつ、作り上げていく技術はすごいなあと思いました。

Dさん

・今日、10数年も前の資料を聞いていただき、ありがたかったです。今はあの時の勢いはないけれど、高学年の実践ができるといいなあと思っています。

サークルで、子どもたちの話ができるのはいいですね。また、来月が楽しみです。鉄棒の指導計画が形になるといいなあと思います。

Oさん

・今日は、実際にジャングルジムや鉄棒で実技を体験することができて、とても嬉しかったです。自分が苦手な鉄棒なので、補助の仕方や感覚づくりを自分が体験できたことが良かったです。

また、小俣先生の前にやられた実践が、すごく勉強になりました。今日いただいた資料をまたじっくりと読み直してから、臨みたいと思います。

Iさん

・西多摩に参加し始めて、初めての实技がありました。水本さんの実践を紹介してもらいながら、ブランコの策を使っての逆上がりや足抜きやお尻落とし？これはいいと思いました。(でも、使えるサクがないうちの学校……)

来週から池田さんのクラスで実践をするために、一緒に考えながら楽しみたい、いや学びたいと思います。

Cさん

・8月19・20日の東京支部大会で、西多摩ブロックは、低学年の鉄棒・跳び箱分科会を受け持つことになりました。そこで、低学年の鉄棒運動の授業づくりの指導計画を、今回提案させていただきました。

実際に先生方を実技をやっていただくなかで、見えてくるものがたくさんありました。やはり、実技は大切だなあと思いました。お話鉄棒の実践を提案できるように授業を進めていきたいです。

Hさん

6月例会のお知らせです!

「低学年の鉄棒&跳び箱遊びの実技」

日時 6月21日(土) pm 1:00 ~

会場 あきる野市屋城小学校

鉄棒の実践その後と跳び箱もやろうと盛りだくさん。また、実技がいいですね。動ける用意で来てください。

